

～ 572社・団体 / 1,169小間出展 会場を4ホールに拡大して過去最大規模で開催～

**Feel & Act “Eco-Life”**

地球と私のためのエコスタイルフェア

# エコプロダクツ2006

Eco Style Fair

2006年12月14日(木)～16日(土) 10:00～17:00

東京ビッグサイト 東1・2・3・4ホール

入場無料

**最新の展示情報を紹介 <http://eco-pro.com>**

(社)産業環境管理協会、日本経済新聞社は、12月14日[木]～16日[土]の3日間、東京国際展示場(東京ビッグサイト)において、「エコプロダクツ2006 ～地球と私のためのエコスタイルフェア～」を開催いたします。

本展は、企業・団体、NGO・NPO、行政・自治体、大学・研究機関、そして一般生活者といった、様々な立場の人がエコプロダクツや環境問題に触れ、それぞれのスタイルでのエコライフの実現を考える、わが国最大級の環境総合展です。

第8回目の開催を迎える「エコプロダクツ2006」は、過去最大規模の572社・団体、1,169小間(10月27日現在)が出展、会場規模も昨年までの3ホールから4ホールに拡大し、環境にやさしいプロダクツ、サービス、コンセプトなどをわかりやすくご紹介します。3日間で15万人の来場を見込んでいます。

今年は「Feel & Act “Eco-Life”」をキーワードに、日々の生活で実行できるエコをご提案します。

入口のテーマ展示では「生活の粋(いき)、技術の粋(すい)」と題し、生活、仕事、レジャーなど様々なシーンで、古きよき日本の知恵や、新技術が生んだエコグッズやサービスを分かりやすく展示し、価値観の転換とエコプロダクツの活用による、サステナブルな社会への転換をご提案します。

さらに、公式ホームページ(<http://eco-pro.com>)では「オンライン・ガイドブック」をオープン。出展者情報・会場案内図はもちろんです。各出展者の体験プログラムなども掲載していきます。ご来場前にチェックしていただき、「エコプロダクツ2006」を、より深く、そしてより楽しく体験いただくとともに、ITを積極的に活用することで、資源の節約を目指します。

本展を、貴媒体に是非ご掲載くださいますようお願い申し上げます。

ご掲載の折には、掲載紙・誌、URL等を広報事務局までお送りいただくと幸いです。

来場者からのお問い合わせ先

NTT ハローダイヤル 03-5777-8600

(12月20日までのご案内です)

本リリースに関するお問い合わせ先

「エコプロダクツ2006」広報事務局

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

共同PR株式会社内 担当:安田、宇津木

TEL/03-3571-5176 FAX/03-3571-5380

e-mail:m-yasuda@kyodo-pr.co.jp



## 「エコプロダクツ 2006」の見どころ

### 過去最大規模の 572 社・団体(1,169 小間)が出展、昨年までの 3 ホールから 4 ホールに会場規模拡大！

家電、日用品、オフィス機器、各種素材、住宅、エネルギー、金融、各種サービスに至るまで、あらゆる分野のエコプロダクツが一堂に集まります。また、グリーンサービサイジング、環境コミュニティ・ビジネス、チームマイナス6%といった政府の取り組みや地方自治体の取り組み、約 70 に登る NPO・NGO、大学の環境サークルも出展し、様々な角度から、価値観の転換とエコプロダクツの活用をご紹介します。愛知万博によって来場者の意識や社会全体がどう変わったかもレポートします。

エコライフ実践者が会場内を解説しながら案内するエコツアーも実施。明日から実践できるエコを、分かりやすくご紹介いたします。

### エコプロダクツ選び、食材選び、レジャーからエコリフォームまで、家庭で使えるエコな技を多数提案！

商品のライフサイクルを考慮したエコプロダクツ選びができる【“商品選び”環境情報コーナー】、食品企業による環境配慮ポイントの紹介や、食育・食文化に関する活動を行う NGO が出展する【万物のいのちを支える“食”の未来コーナー】や、昔ながらの家と、最先端のハイテク技術を使った家双方の、家作り提案、リフォーム建材などを一堂に紹介し、環境を意識した住まいのあり方をご提案する【エコリフォーム&あたりまえの家づくりコーナー】など、生活に密着したエコ情報をコーナーごとに紹介します。

また水素で走る燃料電池車、電気自動車、ハイブリットカーなどのエコカーや、エコバイク、自転車タクシー“ペロタクシー”などが集合する【エコカー乗車体験・エコバイク試乗企画】、関東近郊の日帰りで行けるアウトドアスポットを紹介する【地球を感じるアウトドアコーナー】など、レジャーからエコな家作りまで、様々な生活シーンでのエコプロダクツの活用を分かりやすく紹介します。

【サステナブル・エブリディ エコ GOODS デザインスクエア】では、デザイン性の高いエコプロダクツをご覧いただけます。

さらに、会場中央の【環境コミュニケーションステージ】では、エコに関心の高い方々が実際に使用したエコプロダクツを片手に語るほか、ライフクリエーターの青柳啓子さん、料理研究家の上野万梨子さんらによるトークイベントを開催。生活の様々なシーンで役立つエコライフのヒントを来場の皆様にご紹介いたします。

もちろん、毎年人気の【ナチュラルフードレストラン】、エコプロダクツを購入できる【エコプロマーケット】も設置いたします。

### 会社でのエコプロダクツの活用からエコ起業まで、ビジネスシーンでエコの実行。

記念シンポジウムをはじめ、サステナブルデザイン、環境会計、リサイクル、エネルギーなど、ビジネスに活かせる【シンポジウム、セミナー】を連日開催するほか、会場内の【エコプレゼンテーションステージ】では、3 日間で 40 以上の環境ビジネス、企業の取り組みに関する無料講座を開催いたします。

また、エコで起業するためのプランニング、環境事業の企画や、エコを促すアートプロジェクトを表彰する【eco japan cup】の受賞プランを一挙紹介いたします。

もちろん、各出展企業のブースでは、文具・事務用品、エネルギー、産業材、流通サービスまで多彩なエコプロダクツをご紹介します。オフィスでのエコプロダクツの活用や、エコによる新たなビジネスに繋がる情報が満載です。

### 「エコプロダクツ」をきっかけに年間を通した環境教育を！ 12,000 名のエコキッズが環境を学習・発表！

本展の特徴ともなった小中高生による環境学習。今年は期間中、約 12,000 人の児童生徒が来場し、企業や団体の取り組みや、様々なエコプロダクツを実際に見ることで、環境学習を行います。【子供ステージ】では、日ごろ環境について学んだ成果を小中高生が発表いたします。

また、【科学の力で環境を考える「スーパーサイエンスショー」】では、500 人の参加者みんなでチャレンジする巨大風船や水素エネルギーの実験、“環境戦隊ステレンジャー”のショーなど、楽しみながらエコに触れられる試みを多数行います。



## 開催概要

**名 称:**地球と私のためのエコスタイルフェア～ エコプロダクツ 2006[第8回]

**会 期:**2006年12月14日[木]～16日[土] 10:00～17:00

**会 場:**東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東1・2・3・4ホール

**入 場 料:**無料(入場登録制)

**主 催:**(社)産業環境管理協会、日本経済新聞社

**後 援:**経済産業省、環境省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省、(社)日本経済団体連合会、(社)経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本貿易振興機構、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県 [順不同]

**協 賛:**(財)2005年日本国際博覧会協会、(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会、グリーン購入ネットワーク、(財)日本環境協会、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国小学校環境教育研究会 [順不同]

**協 力:**日経 BP 環境経営フォーラム、日経エコロジー、ecomom、環境 goo、ソトコト、リンカラン、エル・ア・タブル、教育新聞、日本教育新聞 [順不同、予定]

**来場対象:**企業経営者、企業の購買部門、環境管理部門、製品・商品開発部門、経営戦略部門、社会貢献部門  
/ 自治体・官公庁の地域振興部門、購買部門、環境部門 / 各業界団体、地域産業・商工団体など  
/ 一般消費者(ファミリー層、主婦、学生、社会科見学の小・中・高生) / 環境 NPO、NGO 団体、市民グループ、環境に関心のある方

来場者数:150,000人(前回実績:140,461人)

展示規模:572社・団体 / 1,169小間 [10月27日現在] (前回出展実績:502社・団体 / 970小間)

同時開催:日経住まいのリフォーム博 2006 (第2回)

